

関東大震災から100年

～ 100年に1度の大地震は今年かもしれない ～



東京駅前の焼け跡、日本橋方面
(出典：気象庁HP)

今年、大正12年（1923年）に発生した関東大震災から100年の節目に当たります。

関東大震災は、発生日である9月1日が「防災の日」と定められているように、近代日本における災害対策の出発点となった未曾有の災害でした。

関東大震災から100年を迎える今年、改めて防災について考え、災害に備えてみませんか？



(左) 上野公園内 石灯籠の倒壊、(右) 国府津小田原間鉄道の状況 (出典：気象庁HP)

関東大震災は、9月1日午前11時58分、相模湾北西部を震源として発生した巨大地震で、マグニチュードは7.9と推定されています。埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県で震度6を観測したほか、北海道道南から中国・四国地方にかけての広い範囲で震度5から震度1を観測しました。

発生時刻が昼食の時間と重なったことから、多くの火災が発生し、大規模な延焼火災に拡大しました。関東大震災により被害を受けた住家は、総計約37万棟にのぼり、死者・行方不明者は約10万5,000人に及びました。

狛江市（当時は狛江村）では・・・



金刀比羅宮へ震災被災者支援物資搬入記念写真(石井三雄家旧蔵)

村民の被害は、村外で死者2人、行方不明者1人、村内での人的被害はありませんでした。

被害が大きくなかった狛江村では、震災直後から支援活動を始め、9月9日から11日にかけて、寄付によって集められた食料品を東京市芝区（現在の港区）の虎ノ門金刀比羅宮境内に設けられた罹災者救護所に運び込みました。食料品は、じゃがいも・さつまいも・かぼちゃ・米・麦などの農産物が中心でした。

災害救護に当たっては、住民同士の助け合い、ボランティアによる支援が大きな役割を果たしたことが知られています。



大地震ではこんなことが起きてしまうかも!?

考えられる**被害**から、とるべき**対策**を考えよう!

大地震発生

発生直後

家屋や周囲の
建物の倒壊

家具や家電の
落下、転倒

火災の発生

地震の対策として最も大切なことは、
地震が起きた瞬間に命を落とさないようにすることです。
また、火災の被害を最小限にするため、初期消火の準備もしておきましょう。



対策ポイント

地震直後はとにかく自分の命を守る！
対策の詳細はこちら⇒ [3面・4面](#)

身の安全を守ったら…

自宅にひび割れ・
亀裂などの損壊

ライフラインの
供給停止

停電から復旧した
後の火災

地震直後に建物が倒壊しなくても、大きな余震による被害も想定されます。自宅の損壊状況を必ず確認しましょう。
停電から復旧した際の電気が原因で発生する通電火災は阪神淡路大震災で多くの被害を発生させました。



対策ポイント

自宅が危険な場合にはすぐ避難！
安全な場合には自宅で避難生活を！
避難するときはブレーカーを下げて！
対策の詳細はこちら⇒ [5面](#)

地震の後の生活は…

食べ物が
入手できない

トイレが
流せない

スマホの電池
切れ・電波が
つながらない

避難所であっても、自宅であっても、避難生活では食べ物・トイレの対策が大切です。自宅で生活するための備蓄と、避難するときに持ち出す非常持ち出し品のどちらも必ず日ごろから準備しておきましょう。
携帯電話は大切な情報収集手段です。充電のためのモバイルバッテリー・充電器や、使えない時に代わりになるラジオなどの備えも大切です。



対策ポイント

日ごろから自宅や避難所での避難生活の準備を！
対策の詳細はこちら⇒ [6面・7面](#)

他にも様々な被害が想定されます。
東京都ホームページ「東京被害想定デジタルマップ」・「東京マイ・被害想定」へ



大地震のその瞬間、あなたがいる場所は安全ですか？

家具類の転倒・落下・移動防止対策をしましょう！

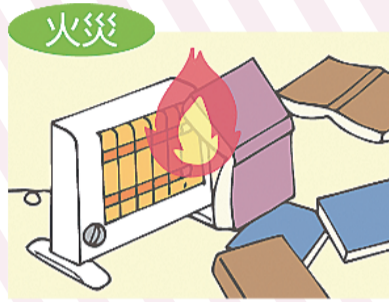
東京消防庁
室内の地震対策



令和4年5月、東京都は10年ぶりに見直した「首都直下地震等による東京の被害想定」を公表しました。10年前と比べ、建物の耐震化や街の不燃化は格段に進み、様々な震災対策が行われていますが、いまだ甚大な被害が懸念されています。

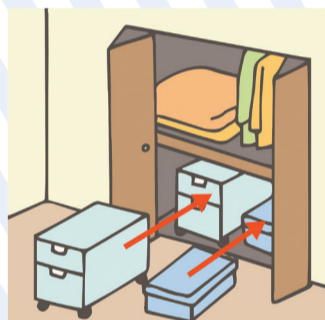
東京都の被害想定（多摩東部直下地震、冬・夕方）では、室内の家具類（屋内収容物）の転倒等による死者は216人、負傷者5,721人と想定されています。

家具類の転倒・落下・移動により発生する3つの危険

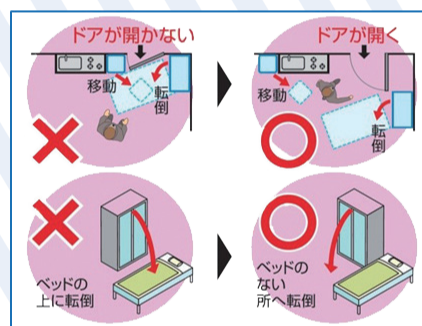


こんなことになったら大切な人も助けられないし、このあとの生活も大変になってしまいます…。

3つの対策で地震に備えましょう！



集中収納



レイアウトの工夫



家具の固定

地震発生時に怪我をしないことが、その後の自助・共助につながります！！

火災は小さいうちに消し止める！

大地震の時は火災の初期消火が重要です

東京消防庁
初期消火マニュアル



上記の被害想定における狛江市内の火災による被害は、死者31人、負傷者100人、焼失建物は1,682棟とされています。初期消火を行うことで、死傷者数、焼失建物数を減少させることにつながります。

震災時の火災は普段とは異なります

- ・自分の家だけでなく、隣近所など複数の家から出火しているかもしれない。
- ・119番が繋がらない。
- ・通報しても消防隊が現場に到着できない。
- ・水道・電気が止まっている。
- ・近所の人もすぐには助けに来られない。

消火活動には皆さんの力【初期消火】が必要です！

1人でもできる！
消火器

みんなで力を合わせて！
バケツリレー

機材を運んで！
可搬消防ポンプ



延焼拡大の危険性



火災が起きた時、家族や大切な人を守るために、お住まいの地域で防火防災訓練に参加しましょう

狛江消防署 地域防災担当 ☎03-3480-0119

狛江市公式 SNS

狛江市の公式アカウントで避難所の開設状況などが確認できます。平時には、市政情報やイベント情報なども発信しています。



耐震化の助成制度があります！ ぜひ検討を！

市内の木造住宅、分譲マンション及びブロック塀等の耐震化を促進するため、アドバイザー派遣や各種助成事業を実施しています。また、今年度から新たに「分譲マンション耐震補強設計助成事業」を新設し、「ブロック塀等安全対策促進事業」も拡充しました。

関東大震災から100年が経過する今年、住宅等の耐震化を改めて考えてみませんか。

【対象事業】12月15日（金）までに申請し、令和6年2月末日までに完了する事業

※契約前に市で助成金の承認が必要になりますので、ご注意ください。

※詳しい要件等については、市ホームページをご覧ください。

【問合せ】まちづくり推進課住宅担当 ☎03-3430-1359（直通）



◀市ホームページ

■木造住宅の各種耐震関連制度

内容	対象建築物	助成額
耐震アドバイザー 耐震化に関する専門的な知識のある建築士が簡易的な耐震診断を行うとともに、耐震改修方法等の情報提供及び耐震化の総合的なアドバイス	▽旧耐震基準（昭和56年5月31日以前の耐震基準）で建築された木造住宅及び木造集合住宅 ▽一つの建築物を複数の用途として使用している場合は、当該建築物の延べ面積の過半が住居の用に供していること	自己負担なし （市が全額負担）
耐震診断 耐震に関する機関に登録する建築士等に、対象住宅の耐震診断を依頼する場合に費用の一部を助成		耐震診断に要する費用の3分の2の額 〔上限額〕12万円
耐震改修（建て替え工事を含む）	▽旧耐震基準で建築された木造住宅及び木造集合住宅 ▽一つの建築物を複数の用途として使用している場合は、当該建築物の延べ面積の過半が住居の用に供していること ▽耐震診断の結果、評点が1.0未満であること	(1)改修後の住宅全体の評点が1.0以上となる場合、耐震改修に要する費用の2分の1の額 〔上限額〕80万円 (2)改修後の住宅全体の評点が0.7以上1.0未満となる場合、または1階部分の評点が1.0以上となる場合、耐震改修に要する費用の2分の1の額 〔上限額〕30万円
住宅改修（建て替え工事を含まない）		上記の耐震改修工事と同時に行う住宅改修（リフォーム）工事費用の5分の1の額 〔上限額〕20万円



◀市ホームページ

■分譲マンションの各種耐震関連制度

内容	対象建築物	助成額
耐震化促進アドバイザー 耐震化に関する専門的な知識のあるアドバイザーを派遣し、耐震化促進をアドバイス	旧耐震基準で建築された分譲マンション	自己負担なし （市が全額負担）
耐震診断 分譲マンションの耐震診断（診断に伴い行われる現地調査を含む）に要する費用の一部を助成		耐震診断に要する費用の3分の2の額 〔上限額〕100万円
耐震補強設計 分譲マンションの耐震補強設計に要する費用の一部を助成	旧耐震基準で建築された3階以上（地階除く）の分譲マンション	耐震補強設計に要する費用の2分の1の額 〔上限額〕200万円



◀市ホームページ

■危険ブロック塀等の耐震関連制度

内容	対象ブロック塀等	助成額
ブロック塀等の撤去 避難路に面する危険なブロック塀等（コンクリートブロック塀、石積塀、コンクリート製の塀、万年塀、それぞれ詳細の撤去に係る費用の一部を助成	安全性の確認ができない危険ブロック塀等 ※コンクリートブロック塀、石積塀、コンクリート製の塀、万年塀、それぞれ詳細の要件が異なります。市職員が現地確認を行います。	(1)撤去のみの場合 撤去に要する費用または撤去した部分の総延長1m当たり1万円のいずれか低い額 〔上限額〕15万円 (2)緑のまち推進補助金を受けて生け垣等を造成する場合 撤去に要する費用または撤去した部分の総延長1m当たり1万5,000円のいずれか低い額 〔上限額〕22万5,000円



覚えておこう 割れたガラスの破片から足を守ったり、避難所で履くために上履きや体育館履きは大切！1人1足準備しましょう！

揺れがおさまったらこれをチェック！

自宅確認チェックシート

自宅が安全な場合は、自宅にとどまっの避難生活を検討しましょう。

自宅の周りの確認！ 危険に気づいたらすぐ避難

- 近隣で火災が起きていないか確認しましょう
- 近隣の建物や塀が自宅に向かって倒れてこないか確認しましょう

自宅を確認する前に！

- 靴やスリッパを履いたり、ヘルメットなどを被り、けがをしないようにしましょう
- 余震で出口が塞がらないようにドアを開けましょう

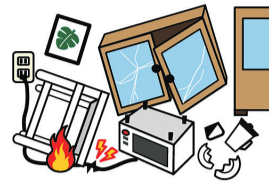
自宅の外観や内部の確認！

- 自宅の壁や基礎部分に大きな亀裂があるなど、損壊していないか確認しましょう（最終的には応急危険度判定士が確認して回ります）
- 自宅内の家具類が倒れてくる等、危険がないか確認しましょう
- 停電・ガス漏れ・断水・水が流れない等、ライフラインの状況を確認しましょう（下水の確認は周囲の状況をよく確認してからにしましょう）
- テレビや携帯電話、ラジオ等で情報が入手出来るか確認しましょう

一つの意識で狛江を救う！ 通電火災対策

地震時の通電火災にご注意

狛江市は、市内の大半が住宅地であるため、災害時に1つ火災が発生すると広く延焼してしまう恐れがあります。各家庭での火災対策が絶対必要です。



通電火災の原因

地震が起きて停電が発生

ここで対策！

地震が起きた時に自動でブレーカーが下がる感震ブレーカーを日ごろから設置！



電気がついたままであることに気づかずに避難

ここで対策!!

避難するときは停電の有無にかかわらず必ずブレーカーを下げる！

タダ!!



停電が解消され、電気が通った際に、電化製品や電気配線から出火

これは絶対に守る!!!

対策で下げたブレーカーを上げる時は、自宅と電化製品の周りを確認してから！

タダ!!



自宅で避難生活？

どこかへ避難？

揺れから命を守った後のために...

分譲マンション管理組合、賃貸マンション所有者のみなさんへ

マンションで災害時に備えてみませんか？

東京都では、災害による停電時でも、自宅での生活を継続しやすいマンションを「東京とどまるマンション」として登録・公表し、普及を図っています。

「東京とどまるマンション」に登録したマンションに対して防災備蓄資器材の購入費用の一部を補助する制度があります。

補助率 2/3

上限額 66万円

主な要件

東京とどまるマンションに登録しているマンションの分譲マンション管理組合や賃貸マンション所有者

補助対象

防災備蓄資器材の購入に係る経費 (例) 発電機、簡易トイレ等 ※飲料水・食料は対象外

とどまるマンション促進課長 “とどまるくん”



詳細は都ホームページをご覧ください



問合せ 東京都住宅政策本部民間住宅部 マンション課 ☎03-5320-5007 (直通)

地震の避難

あれこれ

★災害時集合場所と避難所

災害時集合場所	避難所
周囲の建物の倒壊や火災から一時的に身を守る場所	長期的な避難生活を送る場所

★避難所の4つのない

- 1 避難所に避難しなければいけないわけではない
狛江市では地域による避難所の指定はしていません。自宅が安全な場合は、自宅にとどまったり、避難する場合でも避難所以外の安全な避難先に避難するなど、避難所へ避難しなければいけないわけではありません。
- 2 避難所はすぐに入れない
避難所の開設には、時間がかかります。
- 3 避難所は快適ではない
開設してすぐの避難所にはパーティションや段ボールベッドがなく、プライバシーや感染症対策等から、快適な環境ではありません。
- 4 避難所に何でも準備されているわけではない
倉庫のスペースに限りがあるため、履き物や着替え等の備蓄はありません。各自で持って来なければいけません。



家庭内備蓄 本当に十分ですか？

どのようなものがどのくらい必要なのか理解しましょう！

備蓄ってなぜ必要なの？

大規模災害時には長期間の停電や断水の他、物流が途絶えることが想定されます。また、市外から支援物資が届くまでに時間がかかることもあります。その期間を自宅で過ごせるよう備蓄をしていざというときに備えましょう。

水（飲料水・生活用水）

- 飲料水（1日1人3リットル×人数分×7日分）
- 生活用水（飲料水とは別）。水道水を入れたポリタンクを用意する、お風呂の水をいつも張っておく、など。

食料

- お米などの主食類
- ビスケット・板チョコなどのお菓子類
- 缶詰
- 乾麺
- レトルト食品

ペット用品

- キャリーバッグ・ケージ
- フードと水（5～7日分）、食器
- トイレ用品
- 健康の記録
- 首輪、リード
- おやつ
- 常備薬、療法食



おもちや



詳細は防災マップ
いざという時のために

生活用品

- トイレtpペーパー
- ティッシュペーパー
- マッチ・ライター
- ろうそく
- モバイルバッテリー
- ラジオ
- カセットコンロ・ボンベ
- 懐中電灯
- 乾電池
- ガムテープ
- 養生テープ
- 紙皿・紙コップ・割り箸
- 食品用ラップ
- 缶切り・万能ナイフ
- ポリタンク
- ドライシャンプー
- 歯ブラシ・口腔ケア用品
- 衣類（季節に応じたもの）
- 毛布
- タオル
- 携帯トイレ



基本的には上の表のものを **1週間分** 備蓄する必要があります。

具体的に1週間分という数を数値で見ると…

食べ物 → 3食×7日=21食

水 → 3L×7日=21L（大きいペットボトル10.5本分）

トイレ → 5～7回×7日=35～49回分

これは**1人の7日分**です。

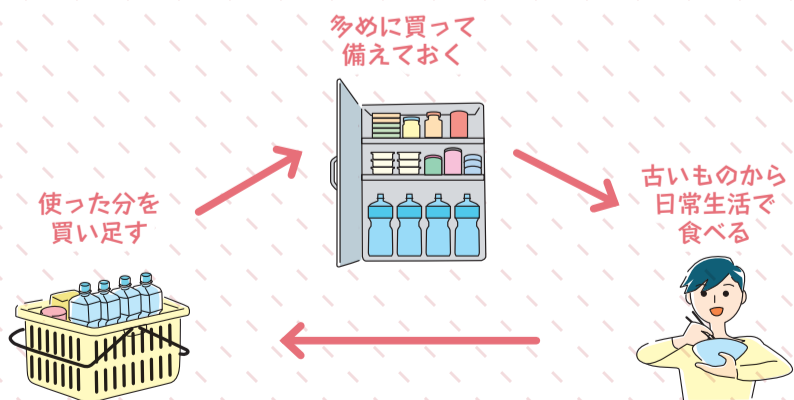
4人家族であればそれぞれ**4倍の量**が必要となります。ご自宅の備蓄量と比べてみていかがでしたか。十分に備蓄できていた方は少ないのではないのでしょうか？

効率的に備蓄しよう！

ローリングストック

普段食べているものを少し多めに買い置きしておき、賞味期限を考えて古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つための方法。

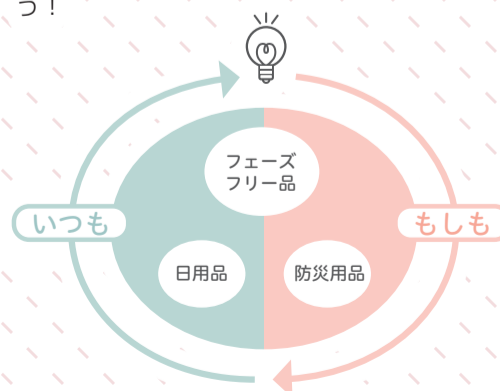
→ 缶詰やレトルト食品等、日常的に使える食べ物を多めに買って置き、食べる買い足すを繰り返して効率的に備蓄しましょう！



フェーズフリー

日常時と非常時という2つのフェーズをフリーにする。身のまわりにあるモノやサービスを、日常時だけでなく非常時にも役立てることができるという考え方。

→ 濡れても書けるボールペンや、目盛付きの紙コップ、ファスナーを開くと寝袋やポンチョになるクッションなど、「災害時のための」という意識をなくし、いざという時にも使える物を日常的に使用するようにしましょう！



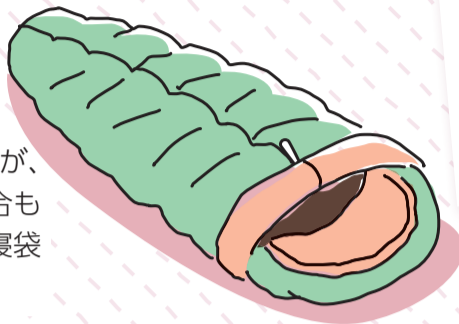
フェーズフリー
総合サイト



アウトドア用品を 災害への備えに!

寝袋

避難所では、エアーマットや毛布などが配布されますが、数に限りがあり、環境によってはそれだけでは厳しい場合があります。避難生活が長く続く場合など、保温性の高い寝袋があれば、寒い時期の避難生活にも安心です。



避難生活でも使える「寝袋」や「クーラーボックス」、「ガスバーナー」など、災害への備えとして持っておきたいアウトドア用品を紹介

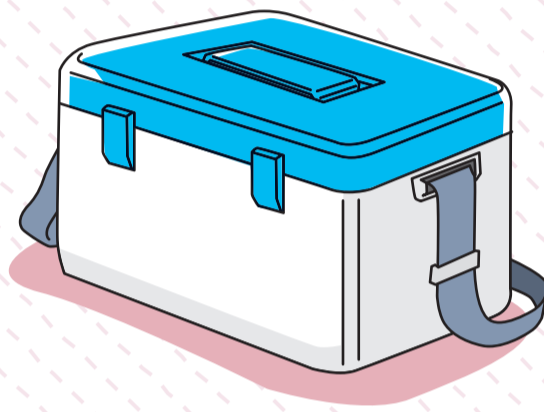
クーラーボックス

食料をストックしておくのに役立つクーラーボックス。停電時には保冷剤と一緒に使うことで、冷蔵庫の代わりにもなります。また、避難所での生活では、食料や飲み物の保管以外にも、サイズによってはテーブルの代わりにもなります。



ガスバーナー

家庭で備蓄する食料の中には、お湯を使うものや温めが必要なものもあります。そんなとき簡易的なガスバーナーが役立ちます。ガスやホワイトガソリン燃料のものは、火力が強く、お湯を沸かすだけでなくちょっとした調理も可能です。



避難所の運営に 参加しませんか!

避難所の運営は、原則として避難者同士で行います。狛江市には狛江高校を除く各避難所に「避難所運営協議会」という組織が設置されています。

「避難所運営協議会」は、主に避難所の周辺にお住まいの方々に構成され、日頃から避難所運営についての会議を行ったり、狛江市総合水防訓練、総合防災訓練での避難所運営訓練など、様々な訓練を行っています。

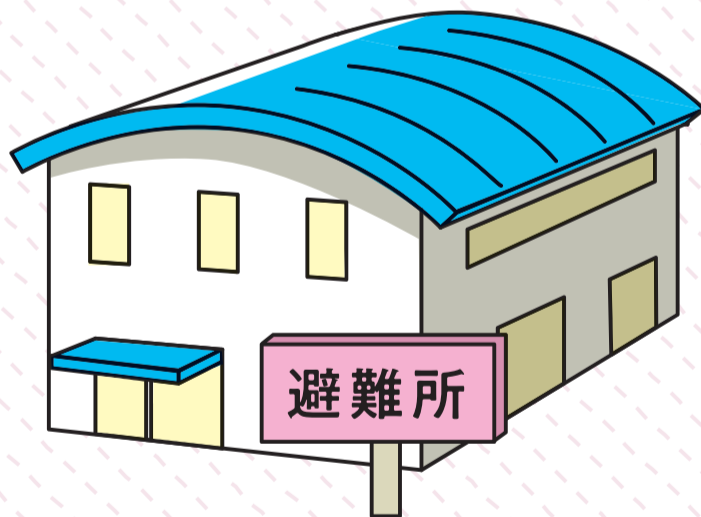
自分がいつ避難所で避難生活を送ることになるか分かりません。防災には地域のつながりが重要です。いざという時のために日頃から防災活動に取り組みましょう。

「避難所運営協議会」にご興味がありましたら、下記、問合せ先までご連絡ください。

[問合せ] 安心安全課 ☎ 03-3430-1190 (直通)

災害時看護職ボランティアも募集中!

詳細はこちら▶▶



覚えておこう

狛江市内の「刑法犯認知件数」(7月末時点)が、昨年同時期より増加しています(170件→185件)。各家庭で対策しましょう！

住宅等防犯対策補助金のご案内

空き巣などの犯罪を未然に防止するために、狛江市内の住宅、店舗、事業所において防犯対策を実施する方に対し、市が経費の一部を補助しています。

補助金の対象になるものの例

- ・防犯カメラの設置
- ・モニター付きインターホンの取付
- ・防犯フィルムの取付
- ・防犯性の高い錠、補助錠の取付
- ・人感センサーライトの設置
- ・センサーアラームの取付

補助金の額

購入金額の2分の1 (上限 10,000円)

対象者

- ・住宅等の所有者 (オーナーを含む)
- ・住宅等の居住者 (貸店舗の利用者を含む)
- ・管理組合

窓口での申請のほか、電子申請もできます。
詳細はホームページをご確認ください。



あなたのその防犯対策が
狛江市を今よりも
安心して安全なまち
にします

今、対策しよう！

住宅の防犯設備に対する補助があります！

狛江市

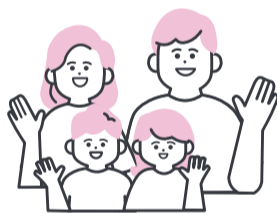
ご自宅の防犯対策は万全ですか？

ちょこっと工事も、まずはユニディへご相談ください！
防犯対策工事はユニディにお任せください！

法人様、団体様
ご相談ください

ユニディ
ホームセンター
なるほど家電

ユニディ狛江店
東京都狛江市和泉本町4-6-3
☎03-5438-5511



自転車の盗難が後を絶ちません…

令和5年
1月～7月

52件



自転車の盗難が今年も多く発生しています。
被害の半数以上は鍵をかけていない状況で盗まれています。外出先はもちろんのこと、自宅に駐輪するときにも必ず鍵をかけ、皆さんの大切な自転車を守りましょう。
通常の鍵に加えて、追加のワイヤー錠をつけると防犯力がアップします。

安心安全課の窓口でワイヤー錠を無料で配布しています！



特殊詐欺の被害が今年も出ています

令和5年1月～7月 市内被害額

10,800,000円

調布警察署集計



市役所職員をかたる還付金詐欺が増えています。医療費や年金の還付金や払い戻しがあるという電話はすべて詐欺と疑いましょう。

ATMでお金は絶対に戻りません。

安心安全課窓口で特殊詐欺被害防止のための自動通話録音機を無料で貸し出しています。
市内在住の65歳以上の方が対象です。
代理申請もできます。

詳しくは
市ホームページへ